

目次

はじめに	1
第1章 環境研究センターの概要	
1・1 沿革	7
1・2 施設の概要	8
1・3 位置図	9
1・4 予算	9
1・5 組織と業務	10
第2章 業務概要	
2・1 研究業務	13
2・2 基盤業務	
(1) 調査	14
(2) 本課及び地域振興事務所と共同で行う業務	15
2・3 共同研究	16
第3章 啓発事業、学会発表等	
3・1 啓発事業	19
3・2 学会発表	24
3・3 論文等の執筆	25
3・4 報告書等の執筆、発行	26
3・5 インターンシップ等による研修生の受け入れ	26
3・6 国際協力のための国外への職員派遣	26
第4章 調査報告編	
4・1 大気騒音振動研究室	
(1) 市原岩崎西局におけるPM2.5高濃度予測に基づく測定(3) －国立環境研究所Ⅱ型共同研究 PM2.5の環境基準超過をもたらす地域的/広域的汚染機構の解明－	29
(2) 微小粒子状物質(PM2.5)成分分析調査(2018年度)	32
(3) 自動測定機テープろ紙を用いたPM2.5高濃度時の成分分析調査	36
(4) 固定発生源周辺における大気中揮発性有機化合物の自動連続測定 －市原市岩崎西における測定－	41
(5) 大気中の化学物質環境実態調査(環境省委託)	45
(6) 化学物質大気環境調査	47
(7) 大気化学に関する調査研究(4)	50
(8) 常時監視測定機の精度管理について(4)－PM2.5自動測定機について－	52
(9) 酸性雨調査－2018年度結果－	55
(10) 湿性乾性降水物調査－2018年度結果－	63
(11) 環境放射能水準調査(2018年度)	65
(12) 大気汚染防止法に基づくばい煙発生施設、水銀排出施設及び 揮発性有機化合物排出施設に対する立入検査	69
(13) 騒音・振動の技術支援－2018年度－	71
4・2 廃棄物・化学物質研究室	
(1) 簡易ガス抜き管設置による最終処分場埋立地内のガス濃度変化	73
(2) 産業廃棄物処理実態解析調査(2016年度実績)	75
(3) 産業廃棄物処理実態解析調査(2012-2016年度実績総括)	79
(4) 産業廃棄物処理実態解析調査による排出量予測	83

(5)	ポストカラム法を用いたLC/MSによる PM2.5中レボグルコサン及びその異性体の分離分析法の検討	87
(6)	化学物質環境実態調査 －アルペンダゾール及びその代謝物の分析結果－	90
(7)	千葉県における環境大気中のダイオキシン類濃度について －2018年度の結果－	93
(8)	ニセネコゼミジンコ繁殖影響試験におけるフミン酸の影響	95
4・3	水質環境研究室	
(1)	印旛沼の農業用機場における水質調査	97
(2)	印旛捷水路の放流口調査	98
(3)	印旛沼における近年の植物プランクトンの発生状況	100
(4)	平成30年度オニビシに関する調査結果	107
(5)	手賀沼における浮遊物質及び底質中の放射性セシウム調査(2)	110
(6)	赤潮等プランクトン調査－2018年度－	114
(7)	東京湾の青潮発生状況－2018年度－	117
(8)	太平洋の水質の特徴について	119
4・4	地質環境研究室	
(1)	同一測線における比抵抗探査結果の比較	123
(2)	2011年東北地方太平洋沖地震時の液状化－流動化現象がみられた 東京湾岸埋立地における液状化－流動化層準：浦安市千鳥での調査結果	125
(3)	2011年東北地方太平洋沖地震時の液状化－流動化現象がみられた 東京湾岸埋立地における液状化－流動化層準：浦安市入船での調査結果	128
(4)	2011年東北地方太平洋沖地震時の液状化－流動化現象がみられた 東京湾岸埋立地における液状化－流動化層準：浦安市日の出での調査結果	131